

令和3年度 下関市地域公共交通会議（第3回）  
議事録（概要版）

令和4年1月6日（木）14:30～

下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館 2階 第1会議室

1 開会

2 会長挨拶

- ・会長挨拶
- ・出席人数と会議成立の報告
- ・議事進行の説明

3 議事

(1) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費  
国庫補助金）に関する事業評価について

事務局：

今回、ご審議していただく事業評価の内容につきましては、市生活バスのうち、  
豊田地域4路線、菊川地域3路線の、計7路線が対象となっております。

各地域の詳細につきましては、各総合支所の交通担当者よりご報告させていただきます。

事務局（豊田）：

豊田地域におきましては、壱路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線の4路線の運  
行を行っております。

事業実施の適切性につきましては、4路線とも計画通り事業は適切に実施されま  
した。

目標及び効果の達成状況につきましては、4路線の目標利用者数2,350人に対し  
て、2,284人の実績となっており、目標達成率は97.2%にとどまりました。

壱路子線については、一部の方の利用頻度が高くなったことで、対前年比の利用  
者数は増加いたしました。豊田地域全体で見ますと、利用者数は減少し、目標を  
達成することができませんでした。

利用者数の減少の要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自  
粛や、利用頻度の高い利用者が身体的理由等から車両の乗り降りが困難になったこ  
となどが考えられます。

実施した利用促進策といたしまして、医療機関等への時刻表掲示、制度周知のチ

チラシを作成し、運行区域の自治会へ回覧などを行いました。また今年度より稼働いたしました、豊田自治会連合会アプリへの投稿も行いました。

予定しておりました、イベントでのチラシや時刻表の配布、運行の概要説明については、イベントの中止により未実施です。

今後の取り組みといたしまして、利用者の皆様に安心して利用していただけるように、引き続き感染症対策を行い、自治会へのチラシ回覧やイベント時の意識啓発活動を行うなど、新規利用者の獲得につながるよう、広報活動をより充実させていきたいと思っております。

また、利用者などからの意見を聴取し、利用しやすい生活バスの運行について検討を行いたいと考えております。

#### 事務局（菊川）：

菊川地域の路線数は全部で7路線あり、そのうち縦ノ木・保木線、内日・田部循環線、久野線が事業の対象路線となっております。

事業評価結果の反映状況についてですが、自治会を通じたチラシ及び時刻表等の配布により、新たな利用者の確保に努めております。なお、毎年、菊川文化産業祭においてバス教室を開催し、バスの広報活動に努めておりますが、令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により、イベントが中止となりましたので、イベント時の意識啓発活動は中止となっております。また、コロナ対策として、定期的な車両内部の消毒や換気等を実施しております。令和2年10月よりダイヤ改正を実施して、使いやすい運行計画の見直し等も実施しております。

事業実施の適切性については、計画どおり事業は適切に実施しております。

目標・効果達成状況についてですが、目標利用者数を5,610人としておりましたが、令和3年度の実績は3,948人であり、目標達成率は70.4%と目標を達成できませんでした。評価といたしましては、目標値の7割は達成しておりますのでB判定となっております。

目標を達成できなかった主な要因といたしましては、新型コロナウイルスの影響による屋内施設の臨時休館等に伴う外出控えや、通学で利用していた小学生の引越しなどの定期的な利用者が減少したことが考えられます。

事業の今後の改善点についてですが、自治会へのチラシ配布やイベントの意識啓発活動を行い、更なる利用促進を図っていきたいと思います。

また、ダイヤ改正を行いましたけれども、地域のニーズ等を踏まえたダイヤ改正や、利用者の意見を聴取して、改善できる点は更に改善してサービス向上に努め、利用しやすい運行について委託事業者とも協議しながら検討してまいりたいと思っております。

会長：

ご質問やご意見のある方は挙手にてお願いします。

委員A：

資料③の令和3年度の市生活バス利用人数【対前年同月比】で、豊田については大きく前年から落ちています。

コロナという説明がありましたが、この生活バスを利用される方はお年寄りが多く、お年寄りは高血圧などの慢性病を抱えてコロナであっても病院に行くような例は多いと思うのですが、豊田の対前年同月の落ち込みが大きいので、そのあたりをどういう風に解釈されるか聞きたいです。

事務局（豊田）：

利用者の減少の理由としては、新型コロナの外出自粛だけでなく、利用される方は買い物または病院などに利用される高齢者の方が多いということで、頻繁に使われていた高齢の方が体調を崩されて、入院や施設入所、または体調不良で車両への乗り降りが難しくなったことが考えられます。

なかなか新規利用者の獲得が難しいところではありますが、制度の周知など、今後も引き続き実施してまいりまして、獲得に努めたいと思っております。

委員A：

状況としては年々人口減少とか高齢化とか、特に豊田とか旧4町では進んでいるわけだから、逆にどんどん利用者が増えて、生活バスの効果が出ているのが普通だと思います。そういうことを考えたら、やはりもう少し利用を促していくことがいいのではないかと思います。

会長：

他はいかがでしょうか。

令和3年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に関する事業評価につきまして、ご承認ということでよろしいでしょうか。

拍手をもってご承認ください。

<委員拍手>

## 4 報 告

### (1) 下関市生活バス（菊川）における貨客混載事業について

事務局（菊川）：

下関市生活バス（菊川）における貨客混載事業について、報告させていただきます。

前回の第2回の下関市地域公共交通会議の議事で、下関市生活バス（菊川）における貨客混載事業について、貨客混載事業導入によるメリットや、試行運行の実施状況、また改善等を踏まえて、貨客混載の内容を説明させていただきました。

この会議の承認を得て、先日、山口運輸支局への申請を行った次第であります。

8月30日に少量貨物の有償運送に係る許可申請を山口運輸支局に行い、10月4日に少量貨物の有償運送に係る許可を受けております。

1月5日に集荷団体農事組合法人小日本ふるさと市の利用承認を行ったところであり、利用開始は1月8日土曜日からとなっております。

会長：

ご意見、ご質問等がございましたら、挙手にてお願いします。

委員B：

下関市の生活バスにおける貨客混載事業につきまして、非常に画期的な取り組みといたしますか、中国地方でも4例目で、山口県内では初の事業の許可と聞いております。

引き続き効果的な事業、皆様の地域の方の役に立つようなかたちでしっかり継続していただければと思っておりますので、よろしくをお願いします。

会長：

他はいかがでしょうか。

県内初の取り組みということですので、ぜひうまく回していただいて、他の地域の参考になるようなかたちで進めていただければと思います。

それでは、報告(1) 下関市生活バス（菊川）における貨客混載事業につきまして、以上といたします。

## 4 報 告

### (2) 新型コロナウイルス感染症に関する市内バスの状況について

事務局：

まず最初に、市生活バスの状況についてご報告いたします。

いずれの地域につきましても、各月ごとに利用状況に変動はありますが、令和元年度から令和2年度にかけて減少し、令和3年度は令和2年度の利用人数を維持し

ている状況です。

令和元年度から利用人数が減少した要因といたしましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設等の閉館や外出自粛のほか、小・中学生の卒業や、頻繁にご利用されていた方が身体的理由などにより利用されなくなったことが挙げられます。

今後、コロナが落ち着けば改善はしていくものと思いますが、生活バスの利用人数は、特に、通学利用や頻繁に利用されている高齢者などの利用状況が大きく影響しております。

つきましては、今後も引き続き、適切な新型コロナウイルス感染症対策を行うことで、安心して利用できる環境の整備を継続するとともに、新規利用者の確保に向けて更なる利用促進を図り、地域ニーズを踏まえた運行ダイヤや便数、経路、運行形態等の見直しに取り組み、市生活バスの利便性の向上に努めてまいりたいと考えております。

次に、サンデン交通バス及びブルーライン交通バスについてです。

いずれも前年度に比べて同等もしくは若干回復傾向にはありますが、まだまだコロナ禍以前の状況には戻っておらず、今後の新型コロナウイルス感染症の影響についても予測不可能な状況にあり、新たな利用促進に係る対応等についても検討していく必要があると思われまます。

サンデン交通(株)：

単月をみますと、2割の減という状況も見られますけど、4月から11月までみますと、コロナ前の3割減70%という状況であり、感染状況に左右されています。

そもそも補助金なしでは収支率が約75%、補助金をいただいても約90%という、赤字の状態にありまして、3割もの大幅な減収というのは今後の路線維持に大きく悪影響を与えるものであり、長引けば長引くほど影響も大です。

そうしたことから昨年10月には過去最大規模の減便をさせていただきました。

多くの方に混乱ですとかご不便をおかけいたしまして、誠に申し訳ない思いであります。

収入が戻らない中、また運転手不足が見込まれる状態で、将来にわたり事業を継続していくための取らざるを得ない策でもありました。いつまでこの状況が続くかわかりませんが、なんとか策を講じて運行の継続に務めてまいりたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

ブルーライン(株)：

令和3年度につきましては少しばかり回復をしていくかなと思っているのですが、先が見通せない状況であります。私どもとしましても、一日でも早いコロナの収束

を願うばかりであります。

会長：

ご意見、ご質問等がございましたら、挙手にてお願いします。

非常に厳しい状況だと思いますけれども、事務局におかれましても交通事業者さんとぜひ連携をとっていただいて、様々な取組みを実施していただけたらと思います。

それでは、報告(2)新型コロナウイルス感染症に関する市内バスの状況につきましては、以上とさせていただきます。

本日の会議につきましては以上であります。

いただきましたご意見につきましては、事務局の方でご検討の程よろしくお願いいたします。

他に何か委員の方からございましたらお願いいたします。

サンデン交通（株）：

サンデン交通におきましては、長距離路線の縮小を検討しております。

長引く新型コロナの影響によりまして、将来の路線維持がなかなか難しい状況になっております。収入が未だコロナ前の3割減の状況であり、今後も運転手不足が続くこと、自治体も財政難ということなどから、路線の縮小や減便に取り組まざるを得ない状況です。

昨年10月に過去最大規模の減便をするに至っており、同時に人件費の大幅なカットにも取り組んでおります。

委員A：

旧4町の方では、もう本当に人口が減って、高齢化して独居老人が増えているというような状況の中で、停留所まで歩けないというお年寄りもいるわけですから、お年寄りが病院へ行きたいと言えば、そこにいる運転できる人が、家まで迎えに行き病院へ連れて行くという、本当に身近な助け合いっていうのをやっていかないといけない。そういう時に、例えば、1回の車を出すのは300円というようなチケットをその地区内で検討するとか、何かのもう少しつっこんだやり方を考えていかないと、ただ、生活バスに乗って下さいのチラシを出しましたでは、私はいけないと思うので、そのようなところも検討していただきたいと思います。

委員B：

運行の見直しにつきましては、いろいろな関係市町との調整とか、事業者同士の調整もあろうかと思っておりますのでよろしくお願いします。

会長：

他に何かございますでしょうか。

これにて第3回下関市地域公共交通会議を終了いたします。

## 5 閉会

事務局：

当会議の次回開催予定といたしましては、今年の6月ごろ、「令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)」につきまして、ご報告させていただきたいと考えております。